大崎町・東川町交流事業

９月20日（日）から３泊４日の日程で、北海道東川町の児童10名が大崎町を訪れました。昨年度から始まった交流事業で、東川町の児童が大崎町を訪れるのは今回が初めてでした。

初日の夜には町内の小学生宅でホームステイをおこない、その後は大崎町のリサイクル施設の見学や、鹿児島市の仙巌園、いおワールドかごしま水族館を訪れて、鹿児島の歴史や自然について学びました。

なかでも特に好評だったのが、柏原海岸での地引網体験です。大崎町の子どもたちも加わり、総勢140名ほどで力を合わせて網を引くと、志布志湾の魚が次々と姿を見せ、大きな歓声が上がりました。交流も深まり、海の恵みや協力の大切さを学ぶ貴重な時間となりました。海のない東川町の児童は「初めての体験だったけれど、魚がたくさん獲れて驚いた」と興奮気味に話していました。

今回の交流を通して、子どもたちは互いの地域の魅力を知り、視野を広げることができました。大崎町と東川町の絆はさらに深まり、今後の交流の発展が期待されます。





第１回大崎町多文化共生連絡会議

９月18日（金）に、町老人福祉センターで「第1回大崎町多文化共生連絡会議」が開催されました。町内には人口の5.5%にあたる644人の外国人住民が暮らし、地域の産業や暮らしを支えています。当日は、地域住民や企業、警察、行政、国際交流員らが集まり、ゴミ分別や交通ルール、防災、子育て・医療などの生活課題を議論しました。「地域の方々と交流したい」という外国人住民の視点からの生の声も紹介され、これまで一方的になりがちだったルールの啓発だけでなく、互いの文化や習慣を理解し歩み寄る大切さを共有しました。主催した同社協の千歳会長は「単なる働き手ではなく地域の一員として迎え、『大崎町に来てよかった』と思えるまちづくりに向け連携の輪を広げたい」と話しました。


今年度100歳の方

いつまでもお元気で！ 長寿祝い訪問

９月の第３月曜日（本年は９月21日（月・祝））は、長年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し長寿を祝う「敬老の日」です。９月16日（水）に、令和８年度中に100歳になられる方々と最高齢者の方に対して町長が表敬訪問をおこない、長寿祝金と記念品を贈呈しました。また、９月末時点で90歳、88歳及び80歳の方々を対象に、地区民生委員を通じて長寿祝金を贈呈しました。

今年度の対象者数			
80歳	122名	88歳	117名
90歳	93名	100歳	5名
最高齢者（103歳）			1名